

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

1. 写真のような状態の粘着パッドで使用した場合

火傷は以下の場合に発生することがあります

- ✓ 使用頻度(目安20～40回)を守り、期限内、頻度内であってもパッド粘着面が乾燥したり、剥がれたり、汚れが取れないパッドは直ちに交換してください。
- ✓ 汗や皮脂などの目に見えない汚れも通電の妨げとなります。一日に1回～2回の頻度にてパッド面の清掃を必ず行って下さい。
- ✓ 洗浄液はアルコールが含まれない物をご使用ください。アルコールに反応する方がいらっしゃいます。
- ✓ 清掃には繊維の付かない不織布などをご使用ください。



粘着ジェル剥がれ等による
貼りつきの弱化



ゴミ等の付着

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

2. 機械のボリュームを適度にあげた場合

●ボリュームを上げることがトレーニングの効果性を高めることではありません。

1回の強さを上げ過ぎるよりも継続していくことが大事です。

最初から一気に上げることもご遠慮ください。(最初の5分は慣らす時間)

※出力が上がりやすい方でも最初は低い出力からスタートしてください。

●患者様それぞれに合った適正なボリュームをご使用ください。

(肩、首に力が入らない程度で…)※**60mA以内でご使用下さい**

●やせ型の方は筋量が少なく、ボリュームが上がりやすい傾向にありますので、
ご注意ください。

※筋量の少ない方(特に女性)は、**50mAを上限値**としてご使用ください。

※決して刺激を求める機器ではありません。

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

3-1. 施術を受けている方に肌の乾燥や傷がある場合

- ✓ 引っ掻き傷や虫さされなど、肌に傷がある場合には、その部分を避けてパッドを貼ってください。
- ✓ 夏場で汗をかいている場合は、その汗をぬぐってからパッドを貼ってください（汗も不純物となります）。
- ✓ 冬場は乾燥しやすい（特に電気毛布やこたつを使用する方）ので、濡れタオルや**コアレジエル**を塗布してください（乾燥している肌に）。
- ✓ タトゥーが入っている部位も避けてください。タトゥーの染料に鉛が含まれている場合、電気によって熱を帯びる可能性があります。

患者様へ普段とは違うピリツとした痛みや熱感を感じた場合には、必ず声をかけて頂きますようお願いください。

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

3-2.肌の乾燥(コロナ禍)

【かくれ脱水】

日本救急医学会によると、コロナ禍でのマスク着用につき、口内の湿度が保たれる事で喉の渇きを感じづらくなり、十分な水分摂取がなされていない無自覚の脱水症状が増えているとの事。

上記の理由から、肌の乾燥でバリア機能低下し、皮膚トラブルの原因になる場合があります。

対策として、日ごろの水分摂取を呼びかけ、来院時や施術前に水分摂取して頂くように患者様に促してください。

※肌水分量を測る「肌チェッカー」等を使用する場合、規定値に満たない患者様にはジェル等にて保湿し、ボリュームを上げ過ぎないようにご注意ください。



皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

4.貼ったパッドの密着や重なりがあった場合

- ✓ パッド同士が重なると、重なっていない部分に電気が集中してしまいます。局所的にボリュームが上がり、皮膚への負担が増えてしまいます。
- ✓ パッド同士が密着すると、筋肉が動いた時にパッドも動き、重なる事があります。パッド同士の間を最低指一本分は空ける様にして貼ってください。
- ✓ パッドのコードの向きに注意し、パッドが浮き上がらないようにしてください。パッドが浮き上がることで局所への通電が強くなってしまいます。
- ✓ パッド全面が肌にしっかり貼りつくよう、パッドの上から指でなぞるようにはりつけましょう
- ✓ パッドはテクノリンク社製の純正品を必ずご使用ください。

※他社製品をご使用の場合、電気の伝導率が異なる場合があります、ヤケドの原因になる場合があります。



×パッドの重なり



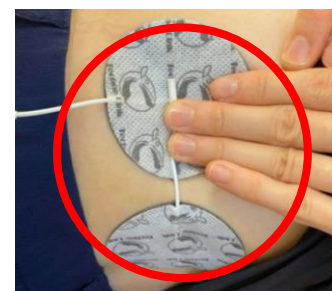
×パッドの密着



間隔の空き



コードは本体に向ける



脇のコードで正面を押さえる様に

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

5.パッドコードの接続不良

パッドとパッドコードの接続部が抜けかけてしまい、パッドコードの金属部分が露出して肌に触れてしまった時に皮膚への刺激が出てしまいます。

パッドとパッドコードがしっかりとハマっているか確認して施術してください。

パッドコードの接続不良



- ◆ 取扱説明書の「使用上の注意」をよく読んでご使用下さい。万一トラブルが発生した場合は当該のパッドを保管下さい。
- ◆ 過電流検知で表示(over current)が出る仕様になっています。その場合は**十分な通電量(63mA)**となっておりますので、**表示が出ないレベルまで下げてご使用ください。**

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

6.スクラブ入りクリーム・ピーリング

古くなった角質を除去して肌のターンオーバーを促しますが、バリア機能を果たしている角質を取り除いてしまうので、刺激や熱に弱くなってしまいます。

保湿ケアをして肌の水分量を保つのが大事です。

水分量を保つために、化粧水や乳液で乾燥をしないようにケアをしてもらってください。

7.ホルモンバランスの崩れ

体調不良(疲労や睡眠不足)や生理前後は、ホルモンバランスの崩れから肌が敏感になりやすいです。

特に女性の方には施術前に肌の状態を確認し、乾燥しているようであればボリュームの上げ方に一層留意してください。

皮膚トラブルに備えて

～原因と対策～

8.脱毛・剃毛

様々な方法がありますが、自分で行う脱毛方法ほど肌への負担が大きいです。
例)除毛クリーム ワックス カミソリ 毛抜きなど

◆ お腹を見せるからと前日に脱毛や剃毛を行っている場合、肌にダメージが残っている場合があります。脱毛や剃毛後にも化粧水や乳液によるケアをしてもらってください。

◆ 脱毛、剃毛後であればコアレ施術前にコアレジェルを塗って保湿してから施術を行ってください。

- スクラブ入りのボディクリームでの洗浄やピーリング、脱毛、剃毛などの皮膚へのダメージが残る可能性のあるものは、コアレ施術の前日には行わないように注意してもらってください。
- 体調不良や生理前後の方の場合には、特に肌の感じ方に注意して施術を行ってください。

コアレご使用に関して

コアレに搭載している波形(MS波形)は、医療認可も取得できる高性能な波形ですので、通常の使用において、ヤケド等の皮膚トラブルが起きる事はございません。

ただし、機器の故障以外で、皮膚トラブルが起きる原因として下記の4点は考えられます。

- パッドの劣化、パッド同士の接触・重なり・浮き、純正品以外の使用⇒パッドを交換または、正しく貼り直す
- ボリュームの上げすぎ⇒適正なボリュームへの修正
- 機器設置場所並びに院の立地等に起因するノイズの発生⇒周辺環境のチェック、改善
- 生体そのものの状態(剃毛・脱毛・ホルモンなどによる皮膚のバリア機能の低下等)
⇒「コアレジェル」による保湿ケア

皮膚トラブル発生の際には上記の事由によるものと考えられます。

考えうる原因に対しての改善点等を見直し下さい。

※患者様トラブル等での損害保険に未加入の場合は、ご相談ください。



機器に同封しています取り扱い説明書は必ずご一読いただいたのち、機器をご使用ください。